

防災まちづくりの会 だより

防災まちづくりの会の任期は2年。早いもので現在の第二期まちづくりの会の任期がもうすぐ切れようとしています。会では、新しい委員を募集します。(詳しくは4ページをご覧ください) また今年度のしめくりと来年度の計画を検討しています。

今年度の工事

防災まちづくりとして行われる今年度の工事の内容がいくつか変更になりました。

- 池袋中の貯水槽……池袋中の西側の区道に設置される予定でしたが、工事が困難なため学校の敷地内に設置されることになりました。既存の学校の擁壁の脇に設置され、西側の区道から使えるようになります。上部にはポンプを置く小屋が設置されます。
- 紀伊国湯の深井戸……旧紀伊国湯で使われていた深井戸は水質検査の結果、飲料水にできることがわかりました。深井戸ながら水位が浅いため、手押しポンプで水を汲み上げられることも判りました。

レスキューセットを購入

防災まちづくりの会では、会の活動や災害時活動に役立つように備品の購入を行っています。今年度は、各町会用にレスキューセットを8セット購入しました。レスキューセットとは災害時の救出用機材で、ボール、鉤、太ハンマー、ボルトカッター、ロープがセットになっており、持ちやすいようにリュック型になっています。

これらはいざという時に役立つように各町会が保管しています。防災まちづくり祭や防災訓練で使用方法を練習します。

今年も盛大に 第4回 防災まちづくり祭

春を迎えると、恒例の池袋本町防災まちづくり祭の季節になります。

例年、防災まちづくり祭はアゼリア植樹祭と同時開催で行われてきました。しかし今年はアゼリア植樹祭が中止されたため、防災まちづくり祭だけで開催されます。そのため日程も1ヶ月ずらして5月21日の開催となります。より多くの方が参加しやすいように日曜日の開催です。

防災まちづくり祭は、「楽しみながら参加する防災」をテーマに、9月の防災訓練とは違った、誰でも気軽に参加できる訓練や、防災知識の普及、防災まちづくりでは何をしているかなどを、地域の皆さんに知っていただくために開催するものです。

防災の訓練とは繰り返して行うことが大切です。その意味で、まちづくり祭も継続ということを重視しています。参加される方はいつもと同じと思わずにどうぞご参加ください。繰り返しが役に立つことが必ずあると思います。一方で、お祭りとして楽しみながら行うためには、新しい企画も必要となります。今年はいろいろな消火方法について、実際に体験することができるようになりました。

どうぞ、ご家族で、ご近所で、お誘い合わせの上でご参加ください。

- 日時：平成12年5月21日(日)
午前10時～午後1時
- 場所：メイン会場 池袋本町公園
サブ会場 池二小・池中井戸広場

- ①「見る」展示コーナー
 - ・子ども防災ポスターコンクール
 - ・こんなに進んだ防災まちづくり
 - ・防災グッズの展示
 - ・神戸に学ぶ…ビデオコーナー
- ②「体験する1」消防訓練コーナー
 - ・起震車や救急救命訓練など
- ③「体験する2」炊き出しコーナー
 - ・大鍋で炊くご飯
 - ・防災食品の試食
- ④「体験する3」防災スタンプラリー
 - ・6つのポイントを回るスタンプラリー
 - ・参加賞は花鉢などです。
- ⑤「食べる」模擬店コーナー
 - ・池袋本町二丁目町会が担当。メニューは当日までのお楽しみ

町会訪問⑥ 池袋本町一丁目町会 田中会長を訪ねて 備えを積み重ねて



現在の池袋本町一丁目町会は、本町公園の南側の一丁目の一部で、約980世帯、550人の会員の町会です。他町会と同じく戦前、戦後と合併・統合などの歴史を重ねて、1969年に改称されたものです。

現会長の田中幸一郎さんは、昨年3月末まで活躍されていた花沢松二さんの後を引き継いで4月に就任されました。田中さんは1935年(昭和10年)世田谷生まれ、第二次世界大戦中は長野県松本への学徒疎開。実家は戦災で焼失し1949年に池袋本町に移り住みました。職業は土建業をへて現在マンション経営をされています。

この町会は、清掃・防犯・交通安全、防災・防火を3つの大きな柱にして、地域を10のブロックに分け、それぞれゴミ焼却工場、警察署、消防署を担当し、各ブロックの常任理事を中心にして街の声を聴くことに努めて活動しています。「うちは盆踊りもないし、相撲大会もないし地味な町会です」と田中さんはおっしゃいますが、住宅密集地の一部でもあり、ゴミ焼却工場のおひざもとでもあるので、住民のいのちと暮らし(生活環境)を守るための強い意志・思いがこの3つの柱からうかがえます。

街・町内のゴミ問題参考のためにと、一昨年に建設されたマンション「シスナブ」のゴミ収集システムの見学をして、町内の人々に対してのゴミの分別、リサイクル品の収集などの徹底についてのPRをかねて街のなかのゴミの収集をしています。また防災についても、辻つじにある消火器を使つての防災訓練や、池袋防災館での防火・防災訓練、救急救命訓練などを行っています。

こうした事故、災害を想定しての継続した訓練・体験、情報の提供、啓蒙・啓発は、人としての学習の積み重ねにつながり、あつてはならない・あつてはほしくない「その時」の力や知恵になること、場面・ステージを超えて活かされていくのだと思います。

町会に所属しているかいないは別にして今この町に住み暮らしている私たちは、今ここで生かされている一人、コミュニティの一員であることは事実です。私たちがこうして安全で快適に暮らしているのは、こうした町会の地道な活動によって支えられているのだということを感じさせていただきました。(取材：野萩、渡辺、青山)

サバイバル・ワンポイント講座 その3

灯りをつくる

- 今回は、サラダ油・アルミホイル・ティッシュペーパーを使って灯りを作ってみましょう。図にしたがってやってみてください。
- ①ティッシュを使って灯芯をつくります。
 - ②③ホイルを切って折ります。
 - ④⑤ホイルに穴をあけ、丸めたティッシュを差し込みます。
 - ⑥⑦⑧ホイルを折り、ガラスのコップに引っ掛けます。
 - ⑨コップにサラダ油を入れて火をつけます。
- ここで注意。油は必ず、サラダ油のような食用油を使ってください。灯油などを使うと火事になります。これは、地震の起きる前に作っておいてください。停電になってから作り始めると大変ですよ！詳しくは防災まちづくり祭で実演します。是非練習をしに来てください。(防災ネットワークプラン/井上浩一)

